

リリースノート

GOSAT-2 TANSO-FTS-2 SWIR L2
クロロフィル蛍光・proxy 法プロダクト
プロダクトバージョン 02.10

2025年2月

国立環境研究所 GOSAT-2 プロジェクト

改訂履歴

版数	制定年月	改訂箇所	改訂内容、理由
00	2025年2月	—	—

1 概要

本文書は、国立環境研究所が作成する、温室効果ガス観測技術衛星 2 号（以下、GOSAT-2 という。）のデータを公開するにあたり、留意事項等をまとめたものである。

本文書が対象とするデータおよびバージョンを表 1-1 に示す。

表 1-1 対象データおよびバージョン

データ名	データバージョン
GOSAT-2 TANSO-FTS-2 SWIR L2 クロロフィル蛍光・proxy 法データ	02.10

2 前バージョンとの差異

前バージョン（02.00）と本バージョン（02.10）との差異について以下に示す。

2.1 処理アルゴリズムの変更

本データを生成するための処理アルゴリズムの変更点を以下に示す。

- (1) 各導出処理の推定対象物理量からゼロレベルオフセット、および装置関数伸縮係数を除外した。ただし例外として、B1_SIF 処理のみゼロレベルオフセットが推定対象物理量に含まれる。これにより、推定対象物理量は V01.07 と同一となった。
- (2) 2.1 節 (1)、および 2.2 節の変更に伴い、品質判定処理の条件を変更した。

2.2 入力データの変更

入力データの変更点を以下に示す。

- (1) 入力データである TANSO-FTS-2 L1B データのバージョンアップを実施した。詳細については TANSO-FTS_2 L1B データのリリースノート (GST-230001) を参照のこと。
- (2) データの導出処理で使用する二酸化炭素分散共分散行列を更新した。

2.3 ファイルフォーマットの変更

データのファイルフォーマットに変更はない。

3 主な留意事項

本バージョンの主な留意点を以下に示す。

- (1) 本バージョンに対応する L1 プロダクトのバージョンを以下に示す。
 - ・ TANSO-FTS-2 L1B プロダクト : 220.220
- (2) 本バージョンでは導出処理において、全ての事例で地表面を Lambert 面として扱った。
- (3) 本バージョンのプロダクトの導出処理では下記の TANSO-FTS-2 装置特性情報を使用した。

・ 装置関数 (ILSF)	2020/05/25 版
・ 感度変換係数 (RAD_CNV)	2022/01/11 版
・ 感度劣化補正式 (RAD_Time_Wave_Deg)	2024/03/27 版
・ 走査鏡複素屈折率 (SCANNER_REFRACTION)	2018/10/10 版
- (4) 以下のデータセットには無効値が格納される。
 - ・ CloudInformation/FTS-2_TIR
 - ・ RetrievalResult_*/wind_speed_*
 - ・ RetrievalResult_B1_*/fluorescence_*
- (5) GasColumn_Proxy 配下の XCH4_proxy_quality_flag, XCO_proxy_quality_flag、および、SolarInducedFluorescence 配下の SIF_quality_flag には、「Good」、「Fair」、「Poor」、「NG」の 4 段階の品質フラグが格納されるが、それぞれ「Good」のデータのみを選択して利用すること。

4 バージョンアップ履歴

本文書が対象とするプロダクトのバージョンアップ履歴を表 4-1 に示す。

表 4-1 バージョンアップ履歴

プロダクトバージョン	リリース年月	備考
01.02	2019年12月	RA ユーザに公開
01.03	2020年4月	処理アルゴリズムの変更 ファイルフォーマットの変更 RA ユーザに公開
	2020年11月	一般ユーザに公開
01.04	2021年7月	処理アルゴリズムの変更 入力データの変更 主な留意事項の変更 RA ユーザに公開
	2021年12月	一般ユーザに公開
01.07	2021年10月	入力データの変更 主な留意事項の変更 RA ユーザに公開
	2021年12月	一般ユーザに公開
02.00	2023年4月	処理アルゴリズムの変更 入力データの変更 主な留意事項の変更 RA ユーザに公開
	2023年7月	一般ユーザに公開
02.10	2025年2月	処理アルゴリズムの変更 入力データの変更 一般ユーザに公開